

『論理パラドクシカ——思考のワナに挑む93問』

→参考：[「今年の執筆予定」](#)

穴埋め問題形式です。

本書の中では、完全な文として掲載されています。

したがって、解答は、本書巻末の「パラドクス辞典（寸言的索引）をご覧ください。

パラドクス辞典（寸言的索引）

パ……『論理パラドクス』 サ……『論理サバイバル』 心……『心理パラドクス』

★……『論理パラドクシカ』（本書）

数字は問題番号を表わす。

●アイスクリーム売りのパラドクス ice cream parlors paradox 心024

人間は（ ）的であるがゆえに、（ ）的な言葉に強制されて互いの利益を守ることができる。

●アインシュタイン-ポドルスキー-ローゼンのパラドクス（EPRパラドクス）
Einstein-Podolsky-Rosen paradox (EPR paradox) ★023

ここぞというときに伝統的科学が（ ）していくところに、科学の伝統の（ ）がある。

●赤の女王仮説 Red Queen's Hypothesis ★047

（ ）場所に（ ）るためには走り続けなければならないのはなぜか、を理解するには、彼方へ向かって（ ）ねばならない。

●アキレスと亀 Achilles and the Tortoise サ005

話を無限に（ ）して引き延ばせば、可能な変化が必ずや不可能に見えてくる。そういう（ ）な話。

●アキレスと亀：変則バージョン Achilles and tortoise: non-paradox version 心098

行動を環境条件に合わせて柔軟に変えられれば、不可能な（ ）が必ずや可能に見えてくる。そういう（ ）な話。

●アクセルロッドの実験 Tit-For-Tat 心026

（ ）は短期的には負けてばかりでも、長期的にはいつのまにか勝っている。（ ）結果だろうか、結果的な（ ）だろうか。

●悪のパラドクス paradox of evil サ061

世界の現状を見るに、神は、（ ）であるか、（ ）であるか、（ ）であるか、（ ）であるか、少なくともそのいずれかであるか、少なくともそのすべてである。

●悪魔の提案 devil's offer サ096

（ ）に迎合した非現実的な前提は、それ以上に論理に迎合し、（ ）を踏みこむ。

●アクラシア問題（意志の弱さのパラドクス） akrasia パ030

利己的な人ほど、（ ）ことをなぜか為したがらず。弱き者ほど、（ ）を放置して平然たるもの。

●明けの明星と宵の明星 Morning Star paradox サ044

在り方を（ ）方で判断すると決めたからには、多少の矛盾の（ ）方には目をつぶろう。

●アダムとイブの思考実験 Adam and Eve thought experiment サ103

決意するだけで幸運を呼び寄せる念力は、すでに特別な位置を確保した人間にしか許されまい。そして（ ）たぶん許されまい。

多数決の（ ）は、（ ）の好みに反した決定を生み出す。

- アンナ・カレニナ式エントロピー Anna Karenina Entropy 心 0 5 2

宇宙の秩序は、生活のためには十分、（ ）のためには不十分。（ ）のためには満足、知恵のためには不満足。

- いくらでも対偶 indefinite forms of contrapositions サ 0 3 9

言いかたが自由であればあるほど、（ ）は制限される。

- 石のパラドクス paradox of stone サ 0 6 0

（ ）すらできない神が、罪を拒否できるはずがあるまい。

- 意志の弱さのパラドクス paradox of unsuccessful intervention パ 0 3 0

意志が強ければいいなあ、とは誰もが憧れつつ、（ ）はいない事柄である。

- $1 + 1 = 2$ $1 + 1 = 2$ サ 0 0 1

$4a - a = 4$ 、という答えを褒めてやれる教育をしたいもんです。ただし（ ）では（ ）をつけてくださいよ。一回り（ ）ね。

- 一般対角線論法 generalized diagonal argument サ 0 6 6

無限には無限の（ ）がある、という全体を告げ知らせるのは、常に（ ）からのみ出し者である。

- EPRパラドクス（アインシュタイン-ポドルスキー-ローゼンのパラドクス） EPR paradox (Einstein-Podolsky-Rosen paradox) ★ 0 2 3

〈あれ〉が完全ならば、世界は（ ）的である。〈あれ〉が不完全ならば、世界は（ ）である。

- 一夫一婦のパラドクス monogamy; whose advantage? 心 0 1 5

男女の観点と（ ）の観点ほどかけ離れたものはない。

- 遺伝子検査 carrier problem パ 0 4 0

最小の距離や単位時間なるものを持ちにするには、()にして()の前提が必要らしい。

●うさぎ-あひる図形 rabbit-duck illusion ★076

別々のものを一箇所に同時に在らしめるのはたやすいこと。()を重んじさえしなければ。

●嘘つきのパラドクス liar paradox パ007

自分の言葉は真実でない、と認めることはつねに()だが、最もたちの悪い矛盾を生み出すのが()さであることあまりにしばしばだ。

●嘘つき連鎖のパラドクス liar chain paradox サ025

()が矛盾を回避できていれば、全体の矛盾に責任を負わなくてよし。()こそ論理的悪霊の呼吸孔だ。

●打ち歩詰め immediate checkmate by dropping pawn ★085

反則を誘発する手は合法だが、反則を()手は反則。この区別、重要。
反則にも()的な反則と()反則がある。その区別、いっそう重要。
して、反則はしょせん反則である。この認識、さらにいっそう重要。

●宇宙船のパラドクス spaceship paradox 心097

()することさえ遠慮しておけば、いかなる()の場所にも居ることができる。

●エイプリルフール・パラドクス April fool paradox ★003

ウソをついてやる、というウソは、これはウソである、というパラドクスとは根本的に異なる。だからこそ、()が()である。

●X-ヒューリスティクス X-heuristics 心004

自分がどの錯覚に囚われやすいかを悟るのは簡単だ。どの錯覚に()かを悟るのに比べれば。

自分がどの錯覚に()かを悟るのは簡単だ。錯覚に()いると()

するのに比べれば。

●エッシャーの不可能絵画 Escher's impossible drawings サ 0 5 3

矛盾を描くことはできるが、矛盾を（ ）ことはできまい。

●エディプス・コンプレックス Oedipus complex ★ 0 6 1

論理的に考えればありえないのに、面白いからその実在が信じられてきた〈無意識の（ ）〉なるもの。その面白さを支える主な力は、（ ）そのものであったりなかったり。

●エピメニデスのパラドクス liar paradox of Epimenides the Cretan 心 0 7 3

パラドクスを解決した瞬間、必ずやパラドクスの復讐が始まる。かどうかがパラドクスの品質証明。かどうかが（ ）の品質証明。

●エルスバークの壺 Ellsberg's urn 心 0 5 8

全くの不確実に賭けられる人は、確実になければ賭けない人と同様、賭けに向いてないか、天性の（ ）か、（ ）で（ ）をしているか。

●円周率は2である $\pi = 2$ サ 0 1 1

（ ）は縮めればどんどん変わるが、（ ）は縮めても全く変わらない。もし（ ）を縮めることが可能だったら、その操作を（ ）に施すことはできるだろうか？

●黄金の山 The golden mountain 心 0 8 1

存在しないものだって、ものである限り、存在しているだろう。（ ）である場合に限ってだが。

●オースチンの犬 Austin's dog サ 0 1 0

始めようのない事柄も、（ ）から（ ）にシミュレーションしてみれば、否応なく始まらざるをえないものだ。

●オッカムの剃刀 Occam's razor 心 0 8 5

仮定を減らしてゆくと、() の数は爆発的に増えるだろう。

●男の子と女の子 boy or girl パ039

同じ答えが得られたからって、質問の違いを忘れているととんだ勘違いをする。() に() が必要ではないほど。

●驚くべき出来事 surprising vs. unsurprising improbable events サ040

説明できるはずなのにと感じるから、() ほど不思議だと信じる。説明できないと信ずるなら、() と不思議だとは感じまい。

●同じ誕生日 same birthdays パ036

真の確率は直観的な確率と異なるだけでなく、() 確率とも異なることがある。

●親殺しのパラドクス (タイムトラベルのパラドクス1) paradox of time travel パ079

誰もが自分の生をリセットする() を持っているが、自分の生をリセットする() を備えた者はいない。

●オムファロス仮説 omphalos hypothesis ★042

神の() のうち最大のものは、人間を大々的に() したということである。

●オルバースのパラドクス Olbers' paradox 心049

無限の夜空が暗いという観察ひとつだけで、星々について無限に多くの秘密を() することができる。

●女か、虎か The Lady, or the Tiger? ★064

決して取り戻せない愛とは、() 的に徹するものだろうか、() 的に凝らされるものだろうか。

●懐疑論のパラドクス paradox of scepticism サ058

() 感に囚われている人自身が、最大の() 人物である。

●解釈学的循環のパラドクス hermeneutic circle サ088

完璧に理解できていないかぎり理解できていないも同然だ。そう（ ）すると、（ ）に一步も踏み出せない。

●買春のパラドクス merit of prostitute ★054

男は（ ）さえあればいい。女は（ ）さえあればいい。双方の本音がいつまで本音であり続けるものやら。

●快楽のパラドクス paradox of pleasure ★058

じかに求めると逃げてゆく蜃気楼だとて、（ ）していれば現実化してくれるわけではないのだが。

●科学の信頼性 credibility of science パ098

科学を信頼しないという人に2種類。科学を誤解している人。「科学」という（ ）の（ ）を誤解している人。

●鏡の部屋 accessibility relation パ006

全員がただひとつの（ ）で結ばれるためには、案外多くの（ ）が必要だ。

●鏡はなぜ左右を反転させるのか mirror image problem ★040

鏡の中の世界が何かを反転させているとしたら、まず第一に「（ ）」という（ ）ではないだろうか。

●確証バイアス confirmation bias パ062

どうせ（ ）そんなことならば、あえて（ ）そんな問い方で確かめてみるがよい。

●核戦略のパラドクス paradox of deterrence パ083

相手が（ ）だろうと互いに疑っているときに限り、道連れ戦略は（ ）戦略となる。

●確率的嘘つきのパラドクス probable liar paradox サ032

どんな断定も、確率表現で一般化すると（ ）は一変するが、（ ）は同じである確率が高い。

■ 確率のパラドクス paradox of probability

「交換のパラドクス」「モンティ・ホール・ジレンマ」「眠り姫問題」「2人の子ども問題」「シンプソンのパラドクス」「4枚カード問題」など一群のパラドクスの非公式の総称。「ペテルブルグ・パラドクス」「パスカルの賭け」「ベルトランのパラドクス」のように無限のパラドクスが混ざっているものも多い。

● 過去断罪のパラドクス paradox of condemnation ★041

過去を責めることは政治的にこの上なく非（ ）的。だからこそ（ ）的にはきわめて（ ）的である。

● 影のパラドクス shadow paradox パ050

（ ）を変えずに中間の因果連鎖が増減することがある。ただし（ ）の何が変わらなかったのかについては増減ありそうだが。

● カサンドラのジレンマ Cassandra's dilemma 心032

喉元過ぎれば熱さ忘れるやつらには、こっちの（ ）を犠牲にしても痛い目を見てもらおうか。

● 数の原子 atomic mathematical entity 心084

（ ）深いものが世界の基本的素材だと思込む自己中生活では、（ ）深い世界がいつまでも基本レベルの（ ）さにとどまる。

● 火星に動物がいることの証明 dependent probability 心055

確率計算で人を驚かせてもむなしだけ。驚きの各々が（ ）だったかどうかを確かめないと、本当に驚かれたのだからどうか。

● 風が吹けば桶屋がもうかる？ transitive reasoning 心079

個性的なハプニングと、（ ）的な事実関係とが、同じ表現で語られることがある。個性も（ ）化できないと（ ）的でないらしい。

●必ず正解の出る質問 *unmistakable question* パ011

必ず正解できる問題とは、()ができない問題ということで十分だ。十分な()ができない問題ということでは不十分だが。

●カプグラ症候群 *Capgras' Syndrome* 心091

親しみは悲しみのもとである。親しみやすいものに()るとは限らないから。

●ガラスの天井 *glass ceiling* 心042

人間への社会的影響を見破ったつもりで人間の()的本性を見過ごしていると、差別なきところに差別を見出し、作り出し、()な社会改革が強行されかねない。

●カリーのパラドクス *Curry's paradox* サ071

何かを否定するだけでは紛らわしいというときは、否定を()で置き換えてみよう。

●カリーのパラドクス／応用編 *Curry's paradox applied* サ072

()に選ぶことが本当に()に可能かどうか、恣意的にでも不随意にでも場合分けしてみよう。

●ガリレオのパラドクス *Galileo's paradox* ★029

より小さいはずの方がより大きくなる観点が1つでも見つかるやいなや、()を1つならず振り捨てる()が手に入る。

●含意のパラドクス *implicational paradox* ★036

専門的な考えも語りも、日常の()をことごとく尊重し、日常の()をとことん軽視しなければならない。

●還元不可能なネズミ獲り *irreducible mousetrap* 心044

ひとつの部品が常に同じ()を()てきたと考えるくらいなら、まだしもどの()もひとつの部品でのみ()されてきたと考える方が見どころがある。

●感情の誤謬 *affective fallacy* 心078

芸術作品の（ ）は観賞者次第。芸術作品の（ ）は観賞者次第。これ、大きな開きがある。観賞者の（ ）が芸術作品次第であり、観賞者の（ ）も芸術作品次第だから。

●観測選択効果 observation selection effects パ044

選ばれるとしたら良いものを選ばれる？ 選ばれてしまったのだから良いものを選ばれている？ 選ばれるはずだから良いものを選ばれる？ 現実の説明にはどれを（ ）のが（ ）だろう。

●カントールのパラドクス Cantor's paradox サ067

すでに在るものは自由に（ ）してけっこうだが、（ ）によって在るものは注意深く（ ）しよう。

●韓非子の矛と盾 Hanfeizi's spear & shield サ076

「実験のための完璧な条件」を定義せよ。「完璧に成功したという判定は容易なのに、完璧に失敗したと確信できる状況はありえない」設定だったりせんようにな、（ ）。

●議席のパラドクス casting vote ★086

権力とともに（ ）が失われる以上に、（ ）を失うやいなや権力が増す現象がちらほら。それが現代風権力というもの。

●ゲーチのパラドクス Geach's paradox パ025

論理で（ ）を証明できるはずがないからこそ、論理は（ ）である。

●義務のパラドクス paradox of derived obligation パ048

（ ）的義務が果たされていないと常に矛盾が生ずる。（ ）とは（ ）的誠実さのことである証拠だろう。

●逆-カプグラ症候群 prosopagnosia 心092

論理の理解には、（ ）はどのくらい必要だと実感されるだろうか。

●逆ギャンブラーの誤謬 inverse gambler's fallacy パ043

珍しい事件に立ち会えたのは、() でない可能性の方が高かったりする。立ち会えたからには貴重な事件だというのが、() である可能性は皆無であったりもする。

●逆説的 E S S paradoxical evolutionarily stable strategy ★ 0 4 9

() うと強いやつが、() ずには割を食う。() た比較だけが() う環境では丸く収まっているのだが。

●キャッチ=22のジレンマ Catch-22-type double bind ★ 0 0 5

この文章が受けないようでは() が() る。この文章で受けるようなら() が() べし。

●ギャンブラーの誤謬 gambler's fallacy パ043、★013

確率よりもツキや流れに殉ずるくらいでないと、天才ギャンブラーになれる確率は低い。

●究極の還元主義 final reductionism 心100

() 的経験なるものがあるだけでなく、経験とはすべて() だったとわかる日が来たらどうしようか。すべて() 的、じゃなくてすべて() 、だよ。

●窮鼠猫を咬む? public health selection 心039

文明は() を強いる。公衆衛生の副産物は、() 物質 vs () 菌といういたちごっこだけではない。

●恐喝のパラドクス paradox of blackmail 心008

恐喝に応じることは罪ではないが、() に応じることは罪である。脅迫に屈することと誘惑に負けることの違いだろうか。警告に従うことと懇請を容れることの違いだろうか。

●鏡像文 mirror image sentences サ070

あなたを記述することが潜在的にあなたの全ての() の列挙を含むならば、あなたは無限回の() に列なることになる——

●禁欲のパラドクス paradox of asceticism ★ 0 5 9

禁欲したいという欲求を批判することによって、欲求への耽溺を（ ）することはできない。耽溺への欲求を（ ）できるのみである。

●偶然的パラドクス contingent paradoxes サ 0 1 7

いかなる文も潜在的にパラドクスだが、そのうちたまたま露見したのが偶然的パラドクスである。必ずしも（ ）が露見しなくても、（ ）に露見すれば。

●空のパラドクス paradox of ku 心 0 7 0

背理法の仮定は、主張された言明として（ ）るべきだが、主張された言明として（ ）てはならない。

●クオリアの点滅 blinking qualia argument ★ 0 4 4

随伴現象説が現実に成り立っていても、クオリア点滅が起こる可能世界がある。

（真なる事象様相 $\exists w (E w \wedge \Diamond B w)$ ）

随伴現象説が成り立つ現実の中で、クオリア点滅が起こることは可能である。

（偽なる言表様相 $\exists w \Diamond (E w \wedge B w)$ ）

この二つさえ（ ）視できれば、（ ）と（ ）を（ ）化できるのだが。

●くじのパラドクス lottery paradox パ 0 4 5

誰もが福の神に会う可能性がある。しかし、全員が福の神に会う可能性はない。福の神の気難しさゆえではなく、福の神の（ ）ゆえに。

●グッドマンのグルーのパラドクス projectible predicates パ 0 6 7

言葉は予測だけでなく、（ ）にも使えるようでない、科学用語としても日常用語としても等しく（ ）なるものである。

●クラスターの錯誤 clustering illusion 心 0 5 7

錯誤が起こりやすいという理屈があるならば、錯誤が起こる方に賭けるべきである。錯誤が起こりうるという根拠があるならば、（ ）という（ ）を試すべきである。

●クリックの「統計の誤謬」 Crick's statistic fallacy 心 0 4 6

地球人は（ ）な宇宙人だが、だからこそ地球は（ ）な惑星ではありえない。

●クリプキの規則のパラドクス paradox of rule following パ068

具体的な適用の集合である規則と、（ ）としての規則とは、規則破りを規則化しないと引き剥がせない。

●クリプキの信念のパズル Kripke's puzzle about belief サ045

客観的な報告にみえる間接話法は主観的誤解の（ ）的原因である。

●クレタ人／プライアーのパラドクス Prior's family of Cretans paradoxes サ015

「人間みな嘘つき」は矛盾ゆえ偽。だからといって、（ ）い人間がいることが証明されたじゃないってば。

●グレリングのパラドクス Grelling's paradox パ015

「抽象的」という（ ）は抽象的だが、「抽象的」という（ ）はこの上なく具体的かもしれない。

●クローン人間 human cloning サ107

「人間の尊厳に反する」という断定ほど（ ）で、（ ）の（ ）を踏みこむ態度はない。

●芸術の「について」性 aboutness of art サ054

芸術展では、出品物だけでなく、出品行為を込みに考えないと正しい評価ができません。少なくとも芸術的に正しい評価は。つまり（ ）的に正しい評価は。

●係留ヒューリスティクス anchoring heuristics 心003

情報を偶然入手したからといって、（ ）な（ ）であるとは限らない。

●決定論と自由意思 moral luck 心014

およそ罪なるものが宿命であろうがなかろうが、罰には値するまい。罰に値するのは罪でなく（ ）である。

●ゲティア問題 Gettier problem パ054

真実が（ ）な理由で信じられているのに、（ ）ではないと。偶然というものはしばしばそうした芸当をみせる。

●ゲティア問題以前 toward Gettier problem パ054

答えが間違っているから（ ）ではないという事例よりも、答えが正しくても（ ）ではないという事例の方が多かろう。正しい（ ）知識でない事例はもっと多かろう。

●ゲーデル命題 Godel sentence パ059

自分の限界はいくらでも知ることができるが、（ ）の（ ）についてはそうはいかない。

●ゲーデル命題 Part 2 Godel sentence: part 2 パ061

知ることはできても決して知ることはないような事柄は、（ ）い場所より（ ）た（ ）な紙背行間に潜む。

●ケネディ暗殺のパズル counterfactuals 心034

真実が（ ）であれば何通りもの仮説が立てられるが、（ ）ならではの厳格な序列が決定していたりするのだと。

●権威からの論証 argument from authority 心076

権威のお墨付きを信じてはならない。当の権威が（ ）た場合はもちろん、（ ）の権威でない場合にも。

●現象判断のパラドクス paradox of phenomenal judgement ★043

因果関係が全くない人物を指示することなど簡単だ。ただし（ ）することは難しく、ましてや（ ）することは決してできないが。

●原爆投下のジレンマ atomic bombing dilemma ★091

（ ）いことが（ ）ことに化すところに、戦争の悪がある。（ ）でなかったとひたすら非難する人は、戦争を悪と認めまいとする人だろうか。

●行為の原因 causes of action パ031

本人の素質や能力も遺伝子も、()の一部である。行為にとっては。

●交換のパラドクス exchange paradox 心056

選択肢の内容より先に()を正確に見極めれば、可能性が()化して難問がたちまち平易化する。

●合成の誤謬 fallacy of composition 心072

個々の日本人が()かであればあるほど、日本という国は()になりきれよう。

●幸福と快樂 happiness and pleasure パ056

快樂とは独立の、単に「()である」という自覚こそが()、という定義もありかもしれない。さらには「()である」という決意こそ、()の定義のみならず()な定義かもしれない。

●功利主義のパラドクス paradox of utilitarianism パ092

最大多数の最大幸福に()ることほど、最少数の最少幸福をすら()しがたい姿勢はない。

■ 合理性のパラドクス paradox of rationality

「囚人のジレンマ」「最後通牒ゲーム」「ビュリダンのロバ」「毒物パラドクス」「美人投票のパラドクス」など一群のパラドクスの非公式の総称。「ニューカム問題」「勝者の呪い」のように予言のパラドクスと絡むものや、「アレのパラドクス」「代表性ヒューリスティクス」のように確率のパラドクスと絡むものも多い。「自己欺瞞のパラドクス」「サスペンスのパラドクス」のような亜種もある。

●心の会計簿 mental accounting 心006

お金に名前は書いてないが、密かに()が書かれている。

●胡蝶の夢 pan-fictionalism～butterfly dream サ105

ともに夢の中ではあれ、コンピュータシミュレーションによる宇宙（ ）と、実験室ビッグバンによる宇宙（ ）との区別は、（ ）するまでもない。

●子供はほめるより叱って育てよ？ regression fallacy パ078

なまじ（ ）的な教訓が成立するメカニズムほど、単なる統計的効果ではないかと疑うことが（ ）の基本。

●この本の中の…… in this book… パ099

本書に印刷されている中で一番画数の多い文字は「（ ）ろう」。そしてそれは「（ ）ろう」。

●この本の名は？ what is the name of this book? サ019

文の形をしたタイトルはしばしば見かけるが、どれも見えない（ ）によって非文化されている。

●コープの法則 Cope's law 心047

（ ）を塞いでおけば、偶然の揺らぎだけでかなりの奇跡が実演できる。

●コペルニクス原理 Copernican principle 心059

いかに（ ）的な存在であっても、任意の一性質において（ ）的である確率は低い。

●語用論的パラドクス pragmatic paradoxes サ021

「（ ）はあなたに届かないかもしれませんね」的な不毛な文をつい書きたくなるのは、自己ツッコミの本能だろうか。

■ 語用論的パラドクス pragmatic paradoxes

「エイプリルフール・パラドクス」「ムーアのパラドクス」「ソクラテスの無知のパラドクス」「反芸術のパラドクス」「懐疑論のパラドクス」「やぎさんゆうびん」など一群のパラドクスの非公式の総称。「終末論法」「デルタ t 論法」など「観測選択効果」系にもこれの気配がある。

●コールバーグの6段階 Kohlberg's moral stages 心093

成長につれて（ ）が広がっていき、（ ）的な本能が根っこを押さえ続けていることが忘れられやすくなる。

●コンコルドの誤謬 *concorde fallacy* ★048

人間は（ ）以上に（ ）的だと言いたくなる場合があるが、むしろ（ ）が人間以上に人間的なのかもしれぬ。

●コンドルセのパラドクス *Condorcet's paradox* サ079

シードされるのが得なのは、相手が（ ）しているせいだけではない。負ける（ ）が減るからだけでもない。その両方だけかどうかだけである。

●最後通牒ゲーム *ultimatum game* ★069

われわれは（ ）的ではない。かといってなおさら（ ）的ではない。自分の（ ）を犠牲にしてまでも相手を責め、詰り、執拗かつ崇高に罰することしばしばなのだ。

●最後通牒ゲーム：N回バージョン *ultimatum game: repeated version* ★070

われわれはときに、ハッと我に返って利己的な（ ）に目覚めることがある。たいていは（ ）的な言葉の力によって。

●最善の可能世界 *the best of all possible worlds* 心035

可能世界が物理的に（ ）すると信じはじめると、現実世界の価値が（ ）なほど変わることがある。

●逆らえない命令 *unrefusable order* パ009

イジメに逆らえないのは、たいてい「（ ）なら（ ）よ」という命令が含まれているからかも。

●サスペンスのパラドクス *paradox of suspense* サ051

ネタバレされてもまったく楽しみが損なわれないミステリー小説は、ミステリー小説としてはともかく、（ ）の（ ）として良質である。

●殺人の条件 necessary conditions of murder

心009

加害者のいかなる行為も被害者の（ ）の原因になっておらず、被害者の（ ）を早めてもいないが、たしかに加害者は被害者を（ ）た。論理にはそんな芸当もお手のもの。

●ザルクマンのパラドクス Zalcman's paradox

サ020

（ ）そのものを繰り返せば（ ）として通用するような（ ）にはどのようなものがありますか？

●サンクトペテルブルク・パラドクス(ペテルブルグ・パラドクス) St. Petersburg paradox

パ035

論理は常に（ ）の時間にバックアップされている。それを忘れると、（ ）の現在をセットアップされてしまう。

●3囚人問題 3 prisoners

パ041

他者の運命を知ることで自分の運命の（ ）を変えるには、自らの破局を知ってしまうリスクを引き受けねばならない。

●三単語クイズ three word quiz

心088

類似性にもとづく隠喩的世界観と、近接性にもとづく換喩的世界観とは、（ ）うのか、（ ）うのか、（ ）うのか。

●サンチョ・パンサの絞首台のパラドクス Sancho Panza's gallows

パ013

不合理な規則は合理的に守ることができないだけでなく、（ ）に守ることすらできないかもしれない。合理的に破ることができないだけでなく、（ ）に破ることすらできないかもしれない。

●ジェンダー・パラドクス gender paradox

★051

私たちは、（ ）としてあるいは（ ）として生まれ、教育によってしだいに（ ）になってゆく。

●時間差レイプ rape after sexual intercourse

★056

女の言い分？ あれだけ（ ）て（ ）ないなんて、文句言いたい。
男の言い草？ （ ）もしない女とあれだけ（ ）て、ラッキーだったな。

●死刑廃止論 argument against capital punishment パ090

死刑という不条理が必要とされるとしたら、懲罰のためでも犯罪抑止のためでもない。
（ ）に対する社会の（ ）の象徴としてである。

●死刑を怖れれば誤審は起きない？ argument for capital punishment 心075

「（ ）」の誤差が二、三積み重なっただけで「（ ）」になることがある。
因果関係を逆転させることすらある。

●時限爆弾シナリオ ticking time bomb scenario ★090

人類絶滅を防ぐ手が他にないとしても、罪のない子どもを拷問することは（ ）い。
その考えは（ ）るだろうか。そんなことを論じなければならないことが（ ）
だろうか。

●自己欺瞞のパラドクス paradox of self-deception サ050

自分を騙すことが可能であればあるほど、自分の中に（ ）が発見できる。なわけ
ないところが人間の深さであり、浅さである。

■ 自己言及のパラドクス self-reference paradox

「嘘つきのパラドクス」「ラッセルのパラドクス」「カリーのパラドクス」「グレリン
グのパラドクス」「床屋のパラドクス」「相互言及のパラドクス」など一群のパラドクス
の非公式の総称。「ヤーブローのパラドクス」「韓非子の矛と盾」のような暗黙言及系も
ある。

●自己充足的信念 Self-fulfilling Belief 心017

自分で自分の靴ひもを引っ張って宙に浮かぶことは、論理的には不可能ではあるまい。
その瞬間に（ ）が失われ（ ）が消えるかもしれないが。

●自己反例的パラドクス self-counterexemplifying paradoxes サ018

（ ）的に偽だからといって、矛盾しているとは限りません。

●自殺する権利 right of self-murder パ095

自由に限界はないが、自由の()には限界がある。よって、限界の自由こそ()されねばならない。

●自然主義の誤謬 naturalistic fallacy 心040

()な事実としてどうであるかと、どうであるべきか。この二つが同一視されがちなのは、()な事実だろうか、そうあるべき()だろうか。

●慈悲深い殺人のパラドクス paradox of gentle murder サ062

()を二つ以上重ねるコツを学び取れば、容易にパラドクスの大量生産ができそうだったり。

●清水義範のメタ・パラドクス Shimizu's meta-paradox ★009

学界好みのパラドクスの大半は、解決よりも()にコストがかかる。よほど目を凝らさないと再認できない、()の希少種。

●射撃室のパラドクス shooting-room paradox サ097

()が閉じているのか開いているのかが、楽観論・悲観論の信憑性に悲喜こもごもの影を落とす。

●車線問題 next lane problem サ090

同じ効果を及ぼすメカニズムが複数働いている場合、必ずや()的な方が見落とされる。

●囚人のジレンマ prisoner's dilemma パ082

二つの合理的判断、たとえば場合分け判断と確率判断とが、()の結論を支持することがある。合理性が()なのか、()が合理的なのか。

●囚人のジレンマ：N回バージョン prisoner's dilemma: repeated version 心025

繰り返し同じ状況に置かれることが前提された場合、合理性の()さはどのくらい明晰化されるだろうか。()が明晰に変わらずという意味であれ、()度がさらにあからさまになるという意味であれ。

●終末論法 doomsday argument パ075

自分が今ここにいる、という事実は、()なデータどころではない。仮説の提案と検定とに不正二重使用されがちで、最も()なデータである。

●宿命論のパラドクス paradox of fatalism サ074

謙遜して発言を()的文言に修正すると、どんな瑣末な性質も本質的性質に化けてしまう。なんたる()。

●シュレーディンガーの猫 Schrödinger's cat ★024

()の部屋では生死の境目ははっきりしている。包み隠しなき心どうしにこそ疑心暗鬼の陰翳が宿らねばすまぬのと正反対に。

●循環問答 self-involving exchange サ023

質問を変数として取り込む回答は、()ではあっても()であることが多い。

●勝者の裁き? victors' justice? ★093

形式が()であればあるほど、形式は人を騙す。内容が()であればあるほど、人は内容に背く。「罪深いやつ」と「危ないやつ」とをいっしょくたにすると、自ら罪と危険に感染する。

●勝者の呪い winner's curse 心027

買うと必ず損すると理屈でわかっていたので買わずにすまし、結局買わなかったがために損をした。そういう経験がけっこう()たのだが……。

●初版のパラドクス paradox of the first edition ★046

批判・中傷・非難によって被るダメージの大半は、()る()による消耗である。

●序文のパラドクス(誠実 vs 賢明) paradox of preface パ046

拙著の中に()文など一つも書いた覚えはないのに、どこかに必ず()文

がある。紛れ込んだのか、芽生えたのか、（ ）たのか。

●知らぬは亭主ばかりなり common knowledge 心028

「誰もが（ ）」と「（ ）」は大違い。誰もが（ ）る事実を改めて口に出しただけで、誰もが（ ）た洞察に誰もがただちに辿り着くとはな……。

●ジレンマをパズルに変える方法 how to change dilemma into puzzle サ085

答えを分割するか、ひとつにまとめるかは、回答者の（ ）次第である。質問者の（ ）が回答者の（ ）を上回っていなければ。

●白黒の壁 fry on the wall story 心061

（ ）の高い方のことが起きたからといって、説明が不要になることはめったにない。

●真剣勝負のパラドクス paradox of serious fight ★084

無視されることに耐えられる観客は一流である。無視されることを望む観客は超一流である。（ ）と（ ）る観客は神である。

●真実のジレンマ truth-teller paradox サ027

自己保証には必然的に、自己（ ）が保証されている。

●人種の遺伝的素質 racialism? 心041

人種の大きな分類が（ ）というのは、偏見を下品に露出させないために好都合な見立てであった。

●シンデレラ民話のパラドクス paradox of Cinderella ★062

伝承が外界をしばしば反転させるのは、伝承者の心が（ ）の（ ）だからである。

●シンプソンのパラドクス Simpson's paradox パ077

原因-結果のメカニズムがわからなければ、（ ）関係の統計に頼るしか仕方がない。あくまでしぶしぶ頼ることを条件に。

●シンプソンのパラドクス：一般形 Simpson's paradox: general version ★015

全体集合での統計よりも、真部分集合の中での統計の方を信じるべきだとは限らない。
()なメンバー性が失われていることしばしばなのだから。

●真理の人間尺度説 anthropocentrism of truth サ029

事実が真理に昇格するには、人間の心が必要であるらしい。とくに()という心が。

●心霊ドキュメンタリーの信憑性 credibility of psychic documentary ★083

密かに覗き見たことならなんでも信じてしまう人がいる。()と()は本当に相性がよいようで。

●推移律のパズル transitivity puzzle サ036

()に()の前に行うことができるのと同様、()に()の優位にいたり、影であったり、守護神であったりすることができる。

●スマリヤンのパラドクス Smullian's paradox パ049

()の原因を作ること、()を早めること。()の条件としてこの二つが譲れないとしたら、()者の倫理的定義に論理的譲歩が求められる。

●性差のパズル differences between the sexes ★052

微差を大差へ拡大してゆく微妙ならざるメカニズムによってのみ、男と女は互いの微差を()な()にしてゆくことができる。

●精神鑑定のジレンマ dilemma of psychiatric test ★063

()を通そうとするなら狂ってはおるまいが、()を通せるならすでに狂っている。

●性比のパズル puzzle of sex ratio ★053

男は男らしい方が絶対に得で、女は女らしい方が絶対に得である。これからもその通りであるかどうかは、「らしさ」の意味がどう()されていくかにかかっているが。

●生命の窓 window for life 心048

()に限れば誰もが()に達成できたからといって、その仕事が簡単だということにはならない。

●世界五分前誕生仮説 (オムファロス仮説) omphalos hypothesis ★042

およそ最も人間中心的な世界観は、世界が()に人間を()いるという世界観である。

●世界最小の電子頭脳「ミニアック」 miniac サ016

外界を参照せずにどんな問いにも正解を返してくれる論理的万能機械? 物理的永久機関よりも難しかろう。その()がではなく、()だと()るのが。

●セクシュアル・ハラスメントのジレンマ dilemma of sexual harassment ★055

誘いに乗って()たら、誘っておいて()のと同じくらい、性倫理上の罪なのだとか。

●ゼノンのタネのパラドクス millet seed paradox サ083

境目が()か()かの境目と、境目が()か()かの境目との間には、はっきり境目がある。

●ゼーリガーのパラドクス Seeliger's paradox ★020

()のおかげで、いたるところに宇宙の重みが折り重なることなしですんでいる。

●0乗 zero power ★030

ゼロ回掛け合わせるといふのを、ゼロを掛けるとか、ゼロに掛け合わせるとか、ゼロと掛け合わせるとかと識別するには、()に()する辻褃合わせのテクが必要である。

●0の0乗 zero to the zero power ★031

ゼロをゼロ回掛け合わせるといふのを、ゼロとゼロを掛けるだけの、ゼロにゼロを掛け合わせるだけの、ゼロとゼロとを掛け合わせるだのと識別するには、()から()

する辻褃再構成の直観が必要である。

●0の0乗：哲学バージョン zero to the zero power: philosophical explanation ★032

何も（ ）のと、何も（ ）ことを実行するのとでは、無と有ほどの大違い。

●1001匹の猫のパラドクス paradox of the 1,001 cats パ051

髪の毛の先を見つめるだけで悟ることができる。我らはみな、無数の相矛盾した生命体が同時に同じ（ ）を占有した（ ）的存在なり、と。

●選好の推移律 transitivity of preference ★067

人間的な好みは（ ）的な序列に従わない。従うという思い込みこそが（ ）的なのだが。

●全体的証拠の原理 principle of total evidence ★016

もとの統計より、真部分集合へと狭めた集団における統計を重んじるべきである。（ ）ない（ ）さえあれば。

●選択公理 axiom of choice ★034

無限個の中から無限個のものを選び出すには、（ ）の言葉で語り尽くせる基準がなきゃダメ。そう言われては（ ）の（ ）からの選択が強いられそうだが……。

●選択自由のパラドクス paradox of autonomy パ093

自由を制限する自由を認めねばならないように、（ ）を（ ）する（ ）は拒まねばならない。

●選択のパラドクス paradox of choice ★066

（ ）と幸福のいずれを選ぶかというジレンマは、自負か（ ）かというジレンマに似ている、いやそのものである。

●禅問答：外道問仏 mondo: One Outside the Way Asks the Buddha ★008

「無我」は（ ）の解決策であるが、解決の（ ）ではない。

●相互言及のパラドクス paradoxes of cross-reference サ022

意図せずして言及した事態の転びよう如何によっては、私のこの発言も（ ）かもしれないのだし……。

● 相対主義のパラドクス paradox of relativism パ094

相対主義者たるもの、自己制約的であるか不徹底であるかを喜んで自認しよう。しかし矛盾という（ ）的境地と見なされるのだけは（ ）に心外だろう。

● ソクラテスの無知のパラドクス Socratic ignorance paradox サ049

自分が無知であると知るためには、知に値するどれほどのことに無知なのかを知らねばなるまい。膨大な知が要求されよう。無知の（ ）たるや最大の（ ）たるゆえん。

● 訴追者の誤謬 prosecutor's fallacy ★017

何度言ったらわかるんだろう。要は（ ）が（ ）らしいかどうか探るんじゃなく、（ ）を探ったら（ ）らしいかどうかだというのに。

● ゾンビ・ワールド zombi world パ058

自分に全く主観的（ ）がないと密かに信じることは可能だろうか。（ ）がないと信じた時点で心らしい（ ）も失うのではないだろうか。

● 対角線論法 diagonal argument パ017

一流の論証は、図示すると美しい軌跡を描く。たいてい（ ）の長い（ ）を含んでいる。

● 対偶 contraposition パ003

文の意味を変えずに言い換えるためには、（ ）の意味を大幅に変える、いや正反対にする必要があったりするだろうか。

● 大数の法則 law of large numbers パ037

（ ）は（ ）に屈する。同じ縦横比でも、絶対数によって価値が異なる。

● 大統領は人間にあらず? probability paradoxes サ035

人間が話題になっているからといって、() が話題になっているとは限らない。

● 代表性ヒューリスティクス representativeness heuristics 心 0 0 1

それらしいイメージにあてはまればあてはまるほどそうである確率が増えるわけではない。そこに人間的直観() 哀しきイメージがある。

● タイムトラベルのパラドクス 1 (親殺し) paradox of time travel パ 0 7 9

タイムトラベルをすれば必ず() が発生するというならばタイムトラベルは不可能だろう。しかし単に() が可能になるというだけなら……?

● タイムトラベルのパラドクス 2 (無からのループ) causal loop パ 0 8 0

タイムトラベルをすれば必ず創造論が() なるというならばタイムトラベルは反科学的だろう。しかし単に創造論が() なるというだけなら……?

● 多義図形と多義文 ambiguous picture and ambiguous sentence ★ 0 7 8

感覚的な錯覚と概念的な錯誤は、類似を() 程度に似ており、類似を() 程度に別物である。

● 多数派と少数派のパラドクス large and small groups サ 1 0 0

先に当たりをつけていた場合とそうでない場合とでは、確証される仮説は似ても似つかない。まったく同じ() が得られたとしたらなおさら。

● 多世界説の経験的証拠 observational evidence of many-worlds サ 1 0 2

この宇宙とは因果関係のない別の宇宙。その存在証明を、この宇宙の中に発見できていないとしても、() ということは証明できる。

● 妥当な演繹のパラドクス valid argumentation paradox サ 0 3 3

() の人物がフィクションに使われると、虚構の真実と現実の真実との混同が生じうるが、() においてはなおさらである。

● たぬき・むじな事件、むささび・もま事件 mistake of fact, mistake of law パ 0 8 9

情状の微妙な温度差が有罪と無罪を分けるばかりでなく、無（ ）と無（ ）の断絶をもたらすことがある。

●単純追加のパラドクス mere addition paradox サ 1 0 6

ただでさえ（ ）と（ ）量との葛藤きびしきところに、駄目押しの紛糾が産まれ出よう。産めよ殖やせよと言われると。

●チェーン店のパラドクス chain store paradox サ 0 7 7

勝負の終了予定が決まっていない不確実性と、相手が正気でないかもしれないという疑心暗鬼とが、（ ）を無事動かすとともに、無用の（ ）を促している。

●チキン！ chicken! サ 0 7 8

（ ）の放棄を宣言することが、ときとして（ ）実現の最善の方法だとはな。

●知識の閉包性 closure principle of knowledge パ 0 6 0

知識は閉じた世界を形成しない。外へ開かれるよりも、（ ）に（ ）に落ち込んでゆく。知識そのものがいったん知られ始めるやてきめん。

●中国語の部屋 Chinese room argument 心 0 9 6

（ ）を次第に精密化していったって、意識が灯る瞬間を捉えようとしても無駄だろう。捉えられたらそれは（ ）であって意識でありえないのだから。

●忠誠のパラドクス paradox of loyalty パ 0 3 2

倫理、教訓、法則の普遍化は、「（ ）であれ」というお馴染みの形に忠実だとは限りません。

●チューリング・テスト Turing test 心 0 9 5

意識と区別できない現われ方をするからといって、意識が表われているのかどうか。（ ）と（ ）は違う現われ方をするはずだから。

●墜落ネコの死亡率 falling cats' death rate 心 0 1 6

精神の、いかなる高みから落ちても平気な身軽さが、（ ）という（ ）とな

って身体を煩わせる。

●デイヴィドソンのパラドクス Davidson's paradox サ 0 4 1

いかなる () にもそれなりの根拠がある以上、いかなる () もそれなりに合理的である。その考えは合理的だが、合理的なだけである。

●定義のパラドクス paradox of definition ★ 0 0 6

() や () や () や () について説明がやたら懇切丁寧である。まず () の意味を説明してほしいときに限って。

●定項のパラドクス paradox of constant サ 0 7 3

x が未知数なのか変数なのかは大違い。なにしろ定まり方が () 数 > () 数 > () 数だということのだから。

●定常宇宙論の矛盾 contradiction in steady-state cosmological model サ 1 0 4

主題が何であっても、それが () ない、という学説だけはともあれ間違っていると見てよいようだ。

●テセウスの船 ship of Theseus パ 0 5 2

ひとつの物がいくつの物と () でありうるかを考えると、「 () 」という概念どうしが同じでないことに気づくだろう。

●デモクリトスのジレンマ Democritus' dilemma サ 0 1 2

いかなる断面と断面の間にも () た中間がある。あるいは () た中間が。

●デュエム-クワインテーゼ Duhem-Quine thesis サ 0 8 7

実験がうまくいかないときはえてして、 () の誘惑と () の蛮勇とがせめぎ合う実験場が現出しよう。

●デリダのパラドクス Derrida's paradox サ 0 5 9

どれほどまで誤解を許容するかが、 () の不適性を測る物差しであり、 () の器量を示す指標である。

●デルタ t 論法 delta t argument サ 0 9 1

自分の（ ）的場所から、人類の（ ）をどれほど解釈できるだろうか。解釈できる度合に応じて、（ ）の外に出ている感が強いが。

●天国への道 road to the heaven パ 0 1 9

誰が吸血鬼かを突き止めるには、推理の出発点として一番血色のよい者を探すより、（ ）を吸血鬼と（ ）するのが上策である。

●同一人物であること personal identity パ 0 2 6

（ ）が同一でも、（ ）が連続していなかったら——、（ ）が同一で（ ）が似ても似つかぬ場合に比べて同じくらい、同一人物といえるだろうか？

●同一性のパラドクス paradox of identity ★ 0 3 9

（ ）を独立させるべきときと、全体に従属させるべきときとの判別が、概念を操る秘訣の（ ）を占める。

●同型問題 isomorphic problem 心 0 0 7

（ ）やすさと（ ）やすさは別ものだが、（ ）そうかどうかと（ ）やすいかどうかはほぼ一致する。

●盗撮ビデオ：ヤラセの見破りかた peeping video: how to find fakes 心 0 2 9

エロビデオを見るにも、（ ）ばかりでなく人格への興味を忘れぬ（ ）的視点が観賞レベルをアップさせる。すなわち低レベル観賞の快樂を損なう。

●投票のパラドクス paradox of voting (Ostrogorski's paradox) パ 0 8 4

（ ）で勝っても（ ）で負ける。あるいはその逆。多数決はとにかく気むずかしい。（ ）も（ ）も揺るぎない多数決という決め方は。

●独我論のパラドクス paradox of solipicism サ 0 5 8

無意識や記憶喪失や多重人格の可能性は、（ ）の純粹さを汚すだろうか。

●ドクター・サイコ・パラドクス Dr. Psycho paradox サ095

真理と意味のいずれを<重視す()>て>命に関わる決断の正否が左右される。<重視す()>て>なら然るべく対し方があるものを。

●毒物パラドクス toxin paradox ★071

自分が結局やらないとわかっていることを本気で()を()することはできるだろうか。できたとしたら、自分の意図を今後信じられるだろうか。

●毒物パラドクス：N回バージョン toxin paradox: repeated version ★072

意図を()で試される可能性がなくなったとわかったとき、意図は()の束縛から完全に逃れられるだろうか。

●「特別な数」のパラドクス paradox of interesting numbers サ046

特別さは各々()しているので、特別な()性というものはありません。

●解けない問題 insolvable problem パ010

()の問題の半数以上は、決して解けないことが前提された問題である。たとえ()的に解けたとしても、()的には解けないものと決議済である。

●床屋のパラドクス barber paradox パ012

存在しえない者の()になることはできないが、存在しえない者の()に立つことはできる。

●ドーピング improper doping パ097

薬物スキャンダルの発覚で作品が回収されるか否か。これ、()か()かの試金石。

●飛ぶ矢 arrow サ007

一瞬にして()を通過できるとは、なんと速くも遅くもありうる矢だろう。

●ドミノ倒し論法 mathematical induction 心080

()に関する事柄については、数学的帰納法は使えない。証明の方法と証明の対象とが依存しあっているのだから。

●トムソンのランプ Thompson's lamp サ 0 0 9

架空の報告に欺かれたときは、何でもOKの寛容さで()すべし。

●ド・モルガンのパラドクス De Morgan's paradox サ 0 0 4

AもBもCに()からとって、AとBが()とは限らない。あの特殊なCに限っては。

●トリストラム・シャンディの自叙伝 Tristram Shandy's autobiography サ 0 6 3

永遠に終わらない作業であっても()することがある。作業されずに()部分がなければ作業は()、そういう穏やかな定義のもとでは。

●トロイの虻 trojan fly 心 0 9 9

特異点を経た後となつては、どのように再構成しようと自由である。ただし()の条件が()引き継がれていくことだろうが。

●ナーゲルの「超難問」 Nagel's "harder problem" サ 0 1 4

誰のナルシシズムがどの人物に向けられうるかを知るには、世界に誰が()かを知ることが必要であり、誰が()かを知れば十分である。

●ナッシュ均衡 Nash equilibrium 心 0 2 2

()な計算をどんどん続けていくと、()な算段だけが唯一の選択肢として残りがちである。

●「ならば」の論理 if ... then... パ 0 0 5

論理的センスが露わになるのは、()していない事柄に対する態度によってだ。

●二重効果のジレンマ 1～医師の決断 principle of double effects 1 パ 0 8 6

人命の重さは()で計れる。というより、()以外のもので計ってはならない。

●二重効果のジレンマ 2～運転士の決断 principle of double effects 2 パ087

行為の重さはたいてい、意図と結果の関数だが、() 場合にだけ行為の重みが露わになる。

●二重効果のジレンマ～解決編 double effects～resolution パ088

重さは()で決まる。行為の重さはほとんど、行為の同一性を保った反実仮想空間の()次第。

●日蝕のジレンマ eclipse dilemma 心013

稀少価値そのものは美の体験中は忘れられるはず。少なくとも()型の美と()型の美においてだけは。

●日蝕のパズル eclipse puzzle 心012

太陽と月をせっかく同じ大きさに見せたなら、なぜ日食を毎月毎週にでも起こさないのか。やはり創造主って()なのか、あるいは()主義が中途半端に嫌いなのか。

●日蝕のパラドクス eclipse paradox 心011

光を反射しないものを見ることはできないが、その()は知られるので厄介だ。

●ニューカム問題 Newcomb's problem パ081

直接の()関係を重視するか、確率的()関係を懸念するか。好みの問題ですめば日々、決断と失敗との()も()も消え失せようが。

●ニルヴァーナのパラドクス paradox of nirvana サ057

()の境地は始めから()すましていると達成されない。達成こそが達成の阻害条件。という()こそがまた最大の阻害要因である。

●ニワトリか卵か chicken and egg debate パ020

生物学のパズルだったものが、パラダイム変換後には()のパズルに変貌したり。

●庭のパラドクス principle of indifference 心068

無差別原理を何に適用するかによって、確率はいくらかでも（ ）できる。（ ）できても変更はできないのが確率だが。

●人間転送機 teletransportation パ027

移動ではなく（ ）になってしまわぬよう、フライング防止に神経が使われることになるだろう、テレポート・テクノロジーは。

●抜き打ち絞首刑をする方法 unexpected hanging パ070

今日の予想が、明日（ ）自分（ ）縛ることはない。が、自分（ ）明日（ ）縛らずにはいないだろう。

●抜き打ち試験のパラドクス surprise quiz パ069

完全な抜き打ち試験は、（ ）という性質ではなく、（ ）という性質によって実現される。

●ネクタイのパラドクス necktie paradox ★018

同じ言葉で違う価値が指し示されたり、違う言葉で同じ価値が指し示されたりする。同じ言葉で（ ）が指し示されることさえあるのだ。

●眠り姫問題 sleeping beauty problem サ098

記憶喪失によって分断された人格は、別々の身体にいる人格と同列に扱えるだろうか。少なくとも（ ）と扱えるだろうか。

●NOBODYのパラドクス nobody paradox サ037

無ほど空虚なものはない。というよりも、無ほど（ ）を（ ）に見せかけるものはない。

●残りものには福がある？ order of choice 心054

確率をなるべく高くせよ——（ ）の論理。
高さをなるべく確率化せよ——（ ）の論理。
確率を重ねる回数を最小限に——（ ）の論理。

●売春のパラドクス paradox of prostitution ★057

() 以外のセックスは違法、とすっきり決める必要がある。性倫理に暗にわだかまる矛盾の根をどうしても断つべきなら。

●排中律 law of excluded middle パ022

() に係る副詞と () に係る副詞とは念のため常にアクセントを変えておけ。とりわけ否定という副詞については杞憂はありえない。

●ハインツのジレンマ Heinz's dilemma 心094

質問に答えない態度と、断定を避ける態度とは、まったく別物 () 頻繁に併用されてきた。まったく別物 () 頻繁に兼用されてきた。

●パーキー効果 Perky effect 心090

自由意思は環境によって () されている。() が露骨であればあるほど気づかない。さほどに自由は誇りと幻想を纏わされている。

●禿頭のパラドクス bald man paradox サ082

() 問題を線引き問題として扱ってよいかどうかは、() 問題であると線引きしたいのだが。

●初めての計算 new calculation パ057

知識とは、脳の状態というより、環境の状態である。() は環境というより脳の状態だろうが。

●パスカルの賭け Pascal's wager パ034

神は ()、という断定が () でありさえすれば、神に賭けるのが () 合理的だったろうに……。

●パズル? ジレンマ? パラドクス? puzzle? dilemma? paradox? パ001

正解の質は、新たな () の出現に依存する。

●外れない予言 unfalsifiable prediction パ008

() そうにない予言は、もちろん () そうである。絶対 () ない予言は、() ことも絶対ない。

●罰金のパラドクス paradox of penalty ★068

損より罪を避け、利より義を求めているうちは、罪が () になり、不義が () になる可能性を秘めている。

●バナッハ・タルスキーのパラドクス Banach-Tarski Paradox ★035

() と言われると一切できないことのどれほどが、() となるやいなや派手に為し遂げられることか！

●バベルの図書館～対角線論法 library of Babel～diagonal argument パ017

一文字でも食い違えば別物、という厳格な基準と、単語や分節の違いは同一性を損なわぬという基準と。どちらにしても () が底をつく心配はない。なさすぎる。

●パラドクスとジレンマをパズル化する how to puzzlize dilemma or paradox ★001

() 解きを軽蔑する高尚な () ユーザーなら、自前の煩いが依然 () なのだと証明するための () に取り組み続けるという () にお悩みだろう。

●反芸術のパラドクス paradox of anti-art サ055

「町では『芸術じゃない、芸術じゃない』とテレた振りをしていたのですが、法廷では『これも芸術、あれも芸術』と主張しました」（赤瀬川原平）。パケでは「()、()」とマニアを煽って、司法当局には「()、()」と主張しています（盗撮AVメーカー）。

●反差別という差別主義 implicit prejudice パ096

差別反対の論理には () への偏見が必要とされているように、性差別を糾弾するには () への偏見が必須である。

●ピアジェの錯誤 Piaget's fallacy ★060

大人が () に迎合すると、子どもは () を代わりに装着し始める。

●ビギナーズ・ラック? **beginner's luck?** 心060

ベテランもマニアもドランカーも、たった一度に限ってみれば、ビギナーに遜色なく（ ）かつ（ ）である。

●悲劇のパラドクス **paradox of tragedy** パ028

（ ）的に洗練された装いは、意匠の力を借りるまでもなく、本能的反応で成立してしまう。秘かなる（ ）の悲劇。

●美人投票のパラドクス **beauty contest paradox** 心023

美の基準が全員（ ）していても、美の序列が（ ）するとは限らない。美の序列が全員（ ）していても、一致の基準と一致の序列が（ ）することはめったにない。

●ビゼー-ヴェルディのジレンマ **Bizet-Verdi dilemma** サ084

私にはこの問題が解けないのだが、もし解けたとしたら、(① 私が実際よりも（ ）場合だろう。② この問題が実際よりも（ ）場合だろう)。

私にはこの問題が解けた確信などないのだが、もし確信できたとしたら、(① 私が実際よりも（ ）場合だろう。② 私が実際よりも（ ）場合だろう)。

●非同一性問題（未来世代のパラドクス） **non-identity problem** パ091

利己的な物欲を（ ）たい衝動と、純粋哲学的な思弁的探究心とは、往々にして識別できない。

●人はなぜ犬をかわいがるのか? **man-dog paradox** 心036

犬や猫を可愛がる人は、可愛がらない人に比べて、場合分け的には（ ）、期待効用的には（ ）。最も身近なニューカム問題。

●百聞は一見に如かず? **Seeing is believing?** 心066

見て得た情報が聞いて得た情報よりも、たまたま転げ込んだ情報が狙って得た情報の方が、（ ）に値する違いだ。

●ヒュームの懐疑主義 **Hume's skepticism about induction** 心043

ただこうなっている、というのは、こうである（ ）にはなりえないが、こうである（ ）ではあろう。

●ヒュームのパラドクス Hume's logical positivism 心083

（ ）や（ ）について述べる文は、それ自体、（ ）や（ ）を有する必要はないかもしれん。

●ビュリダンのロバ Buridan's ass サ042

（ ）的理由にこだわるまい、というのが日常生活を支える最大の（ ）的理由である。

●ヒルベルトのホテル Hilbert's hotel サ064

無限はなんと無限に（ ）する。無限に（ ）できるから無限なのだ、かどうかは即断できないけれども。

●瓶の中の小鬼 bottle imp パ072

合理的な計算も、（ ）な者が必ずいるという条件を忘れると、合理的に適用できなくなる。

●ファイン・チューニング fine-tuning 心051

この宇宙は（ ）にとってあまりに好都合にできている。どうしてそう言いたくなるのだろうか、太陽系が（ ）に満ちあふれているというわけでもないのに？

●フィクションを怖れる fearirng fictions サ052

娯楽だし虚構なのに当事者的な感情にいちいち身悶える。これ、人間がそしてこの世が本来（ ）的である証拠だろうか。

●フェルミのパラドクス Fermi's paradox パ076

宇宙でただひとつの惑星に生物が誕生したのだとしたら、地球生物は存在としては（ ）だが、生物としてはまことに（ ）ということになるろう。

●不確定性原理 uncertainty principle ★022

「この世は不確定」という達観が（ ）にも（ ）にも見えるのは、確定への蒙昧な信仰が拭い去れない間だけである。

● 2つの封筒のパラドクス two envelopes paradox サ043

損して得とれ。得をとれるなら損でなくなり、教訓に（ ）るのだが……。 （ ）て従え。

● 2つの封筒のパラドクス（交換のパラドクス） two envelopes problem ★019

いかなる詭弁の（ ）にも、ときには（ ）にすら、確かなお得バージョンが潜んでいる。

● 「2つの封筒のパラドクス」へのトンデモ解答 absurd answer to two envelopes problem ★019

人の名前がたまたま（ ）だからといって、名前で資産や知能指数を判断してはならない。

● 双子のパラドクス twin paradox ★021

（ ）性こそ絶対でなければならない。視点も価値観も（ ）的だが、座標は多数派に合わせて固定しないと、（ ）性そのものが（ ）的に失せてしまうから。

● 2人の子ども問題 boy or girl part 2 ★010

どんなに（ ）な情報であっても、知られることにより（ ）になることがある。という教訓を知ったとて、（ ）はやはり無用にすぎない文脈を忘れるべからず。

● 2人の受講生 Bayesian inference パ038

サンプルを得たのか、情報だけを得たのか、（ ）付き情報を得たのか。すばやく区別しないと、何も得なかったより悪くなる。誤報を掴まされたよりもずっと。

● プラグマティズムのパラドクス paradox of pragmatism 心020

（ ）的応用と緊密に結びついてきたために、（ ）性に乏しい段階で停滞してしまった中華数学——まことに（ ）的な教訓。

● プラシーボ効果 placebo effect 心018

「()から」だからこそ、いったんそう信じるや「()は()る」
ことができなくなってしまうんです。

● ブラックのジョーク Black's joke 心062

自分を()してはならないが、自分を()して考えないと自分なき世界を
真に受ける羽目になる。

● ブラリ・フォルティのパラドクス Burali-Forti paradox ★033

簡単に()できるからといって、()されるものが簡単だとは限らない。

● フレーミング効果 framing effect 心005

強調点よりも基準点の方が、判断の形成に()をもたらすようだ。

● プロタゴラスの契約 contract of Protagoras サ028

契約と裁定が正反対を命じたときの解決なんてどうとでもできる。しかし裁定について
の()と、契約についての()がバッティングするとはな……。

● 「フロリダ」という名の女の子 boy or girl part 4 ★012

名前を教えてもらっただけでは、当人についての知識はわずかしか増えない。が、名前
が()のだとしたら、当人について要らぬ知識まで殺到してしまう。

● 分割の誤謬 fallacy of division 心072

日本という国が()的だったから個々の日本人も()的だったというのは、
まことに侵略的な考え方である。

● 分割のパラドクス bisection paradox サ006

時空を無限に分割できるなら、()も()も無限に分割できなければなら
ないのだが。そして何より()をも。

● 分析のパラドクス paradox of analysis ★007

ものの名前を知っただけでは大した進歩ではないが、同じものの（ ）の（ ）を知るのは劇的な進歩である。

●文の否定 negated sentence パ002

「私」「今」「ここ」はそう簡単に（ ）すら仄めかしもしないのに、「この（ ）」だとたちまちパラドクス風味の名産地となったり。

●文明はなぜ永遠に続かないか event horizon 心033

過去を見れば、未来がだいたいわかる。とりわけ、（ ）が未来なのかわかるのが大きい。

●分離脳 split brain サ099

能力が分割されるほど自意識は重複するだろう。記憶は共有されるのに経験は交わらないだろう。（ ）が複製されるので（ ）は奪い合われるだろう。

●ペイリーの時計 Paley's watchmaker analogy ★045

神を（ ）動機は、神に祈る動機よりも切実であり、神を徴する動機は、神を（ ）動機よりも真摯である。

●ペテルブルグ・パラドクス St. Petersburg paradox パ035

一度限りの極端な設定では、（ ）よりもはるかにはるかにはるかに（ ）を重視すべきだ、ということが見えなくなる。（ ）が無限回の試行の平均値でしかないことを忘れると。

●ヘラクレイトスのパラドクス Heraclitus' paradox 心071

「同じである」はもちろん省略形。何と「同じである」かを補わねば。「某と同じである」もまだ省略形。（ ）ときに「某と同じである」かを補わねば。

●ベリーのパラドクス Berry's paradox パ016

「（ ）で（ ）されていない人物のうち最も背の高い人」は誰だろうか。この質問は誰に言及しているだろうか。

●ベル・カーブ bell curve 心063

グラフの形は、() のために進化したのであって、実在を反映するために進化したのではない。

●ベルトランの箱のパラドクス Bertrand's box paradox 心067

() 的にのみ正しい場合分けをすると、唯一正しかった () までが場合分けされかねない。

●ベルトランのパラドクス Bertrand's paradox サ092

確率を () で求められるものなら楽な話だが、どのような () をすればよいのかについて決め手がない確率が高いので……。

●ペンキ塗りのパラドクス paradox of painting サ065

物質よりも精神の方が () が多いと考えればいちおう納得できてみたり。しかし有限の精神で無限の物質を思い描けるとはな。

●ヘンペルの鴉のパラドクス Hempel's paradox of confirmation パ066

見かけより中身、とは () のための教訓。() の中身が有益であればあるほど、その表現に追随するととんだ () を演じる羽目になる。

●ポアンカレ-ラッセルの悪循環原理 Poincare-Russell vicious circle principle サ069

禁止を () だけに限定するのは、法律でも数学でも等しく無益なようだ。

●放蕩者のパラドクス paradox of rakehell 心021

自分の行為を冷静に見つめ直すことは、倫理的 () を冷ます。だからといって、倫理的 () までも冷ますことにはならない。

●報復のパラドクス paradox of revenge 心010

報復は悪であるが、必要である。() と () の区別を論理的に保証するために。

●ポパーのパラドクス Popper's paradox パ065

手当たり次第とかデタラメという意味ではない。条件を満たすかどうかとは（ ）の基準で選ばれたという意味である。ランダムなサンプルというのはね。

●ホメオパシー homeopathy ★081

（ ）重視の方針を下ろしていくのは文化のレベルまでにしておけ。

●ホルスのパラドクス Hollis's paradox パ071

「推理できる」「解くことができる」を「当てることができる」と解釈してよいなら、世の中ずいぶん（ ）やすく（ ）にくくなるだろう。

●ボルツマンの人間原理 Boltzmann's anthropic principle 心050

（ ）ゆらぎがたまたま生じた場所のうちどこかにのみ、必ずやこの私に相当する者は生まれることができるのでなければならない。

●ポーンの昇格 pawn promotion サ047

規則外の超美技に出遭うと、常に（ ）の余地を狭める方向で対処がなされるらしい。なんせ制度は（ ）るのが大嫌いだから。

●マーフィーの法則 Murphy's law サ089

利害が確率を変える。確からしい率をでなく、確（ ）率を。確（ ）率だとか、確（ ）率だとかを。

●マクタガートの時間のパラドクス McTaggart's paradox サ013

順序があるからといって、流れがあるとは限らない。ただし流れがないことを証明するには、（ ）で論じただけじゃ駄目。（ ）なきゃ無理だろうて。

●マジシャンズ・チョイス magician's choice ★074

（ ）が否定されるくらいなら超能力を認めた方がまし、と信じる（ ）主義者。不（ ）な小能力を拒みたいのか、無能力な超（ ）が欲しいのか。

●間違い探しのパラドクス spot the difference paradox ★002

真実に囲まれた一点の虚偽には自己向上化の特有成分が備わる。「この頁に間違いが1つだけある」。堂々巡りが間違いを（ ）へ、（ ）を謎へ、謎を（ ）へと昇華し続けてゆく。

●待ち遠しさのパラドクス paradox of waiting パ029

矛盾を意識したからといって、心は矛盾を（ ）しようとはしない。撤回するかもしれないが、決して（ ）しようとはしないだろう。

●マルチプル・アウト multiple out ★075

思い通りに選ばせてもらったからといって、思い通りのものを（ ）とは限らない。思い通りだからといって、（ ）とは限らない。

●ミズスマシはなぜ群れるのか? gyrinus japonicus paradox 心037

孤立しているよりも群れていると当たりやすくなるが、いったん当たったときにそれが（ ）である確率は大幅に減る。

●水の記憶 part 1 ホメオパシー homeopathy ★081

毎日（ ）が、過去数百年間どんな（ ）を（ ）でどここの（ ）を（ ）た（ ）なのか、いちいち想像しなきゃいかんな、これからは。

●水の記憶 part 2 ムペンバ効果 Mpemba effect ★082

水より熱湯が早く凍っちゃビックリだけど、より（ ）が（ ）いと言われりゃ不思議と納得。

●三つ子の魂百まで You can't ask a leopard to change his spots 心087

何を可能と思うかは経験につれて変化してゆくが、何を（ ）と感じるかは一生ほとんど変わらないようだ。

●南向きの謎 peninsula puzzle サ002

「ただの（ ）」が冷遇されるようになればなるほど、単なる（ ）でしかない現象が熱く信奉されるようになる。

●未来世代のパラドクス（非同一性問題） non-identity problem パ091

現代人に未来世代の人権を尊重させるには、()に訴えるのでもなく()に訴えるのでもなく、()と()に訴えて、我こそ未来世代の一員と悟らせるのが唯一の道らしい。

● ミューラー・リヤ錯視 Mueller-Lyer illusion ★ 0 7 9

錯覚による警戒も興奮も、もはや石器時代に有していたような()はない。次元フェチ文明が環境をすっかり再々編してくれるまでは。

● ムーアのパラドクス Moore's paradox サ 0 4 8

信じていない内容を主張する人も、否認している内容を信じる人も、自らどちらを甘受するだろうか。()と不整合と。罪と()と。

● 無為自然のパラドクス paradox of wu-wei サ 0 5 6

()であっては無為自然を唱えられっこないし。唱えられることこそ無為自然にとって()であるし。

● 無からのループ (タイムトラベルのパラドクス 2) causal loop パ 0 8 0

無から有が生ずる、というなら無視できよう。しかし無からの有からの無からの有からの無からの有となると……？

● 無限後退 infinite regression 心 0 1 9

()く認めねばならない事柄は本当にある。ただしそれが何であるかはそのつど()く変化する。

● 無限個の知識 infinite pieces of knowledge パ 0 5 5

()の中に無限個の知識を容れられるだけでなく、容れざるをえない理由は、()の()が外界に広がっているからである。

■ 無限のパラドクス paradox of infinity

「カントールのパラドクス」「ヒルベルトのホテル」「ブラリ・フォルティのパラドクス」「トムソンのランプ」「宇宙船のパラドクス」など一群のパラドクスの非公式の総称。「アキレスと亀」系統も広義でのこの種類と言える。「悪魔の提案」「無限列のパラドクス」

ス」「定常宇宙論の矛盾」のように確率のパラドクス絡みも多い。

●無限列のパラドクス infinite series paradox サ094

自然（ ）からランダムに選んで素（ ）。真（ ）からランダムに採って真（ ）。その確率を知るためには、顔とは無縁の実験をすれば、概数ははじき出せよう。

●矛盾した命令 inconsistent order パ023

あまりに露骨な（ ）表現は、（ ）表現として再解釈せずとも、文字通り整合的であることが保証されていたり。

●矛盾律 law of non-contradiction パ021

表面上の矛盾を解除する解釈法はいくつもある。少なくとも（ ）の種類と同じくらい。

●「無条件降伏」というパラドクス paradox of "unconditional surrender" ★092

負けたら（ ）が（ ）る、と潔く覚悟していたやつらほど、あれは勝者の裁きだの（ ）だの、うじうじ未練がましいったら。

●ムペンバ効果 Mpemba effect ★082

水にとっての温度のように、人にとっての心は、（ ）から（ ）への転換だろうか。（ ）から（ ）への帰還だろうか。

●無理数+無理数 irrational numbers サ003

有理数-無理数=無理数、といったん推測はしてみるものの、即座に自明とはいえない。（ ）から（ ）を引き去って残るのが無理だとは確信できないのと同様に。

●もっと究極の還元主義 ultimate final reductionism 心101

論理があらゆる（ ）の基礎であるに違いないが、あらゆる（ ）の基礎とは限らないところが怖ろしや。

●もうひとつの対偶 another contraposition サ038

原文とその対偶は全く同じ意味でなければならないが、()の対偶どうしは異なる意味を持つことがある。

●森の射手 archer サ 1 0 1

自分の身にすでに起きた出来事をもとに、自分や環境の性質を()ることができる。これから起こる出来事をもとに、自分や環境の性質を()することもできる。

●モンティ・ホール・ジレンマ Monty Hall dilemma パ 0 4 2

()どおりのことが実現したからといって、将来の見込みが変化することはない。ほんのわずかでも()と()の間に隙間があったなら別だが。

●役に立つ質問のパラドクス paradox of the question ★ 0 0 4

役に立つと認められるやいなや役に立たなくなる。そういう説明は、無用の用を売りにした場合にだけ()ではない。

●やぎさんゆうびん discommunication サ 0 2 4

趣旨が伝わっていないことが()かもしれない。そういう可能性は、物理的なものと論理的なものに分けて別個に心配すべし。

●約束のパラドクス paradox of promising パ 0 4 7

約束を()ことよりも、約束の内容を()することよりも、()のかどうかを確かめる方が緊急であったりするので。

●ヤーブローのパラドクス Yablo's paradox 心 0 7 4

()形で自己言及が現われることがあるから要注意。()ったら半端なく()ったりするので。

●山のパラドクス sorites パ 0 5 3

程度問題を端的な真偽問題に——取り違えたのかすり替えたのか、()と()の違いもまた程度問題である。

●遊女の平均寿命 average lifetime of prostitute 心 0 6 4

歴史を生き延びたデータというだけでたいい性質の偏ったデータだが、() 例として重宝され、歴史家の騙されやすさの() 的データを提供し続けている。

●有性生殖のパラドクス paradox of sexual reproduction ★050

() さと速度で勝負するか、大きさと() 性で勝負するか。巧みな狙撃手に頼るか、ランダムな新しさに賭けるか。

●UFOの正体 identity of UFO パ073

地球の都合に合わせて来訪の頻度を調節していることがわかったら。() にしては気の遣いすぎと考えるか、() ときたら予算の使いすぎと見るか。

●様相論理の公式 formula of modal logic ★038

あえて不自然な論理を先に組み立てて、実感を後から捏ねあげてゆく。暗黙のこの作法のおかげで、いかに() な() が多々発見されてきたことか。

●良きサマリア人のジレンマ good Samaritan's dilemma ★089

情けは人のためならず、という諺は、もちろん() のためならず。

●予言の自己実現 self-fulfilling prophecy 心031

ある具体的な事実を予言していて、しかも信じれば必ず実現する予言というものがある。() 。

■ 予言のパラドクス paradox of prediction

「抜き打ち試験のパラドクス」「チェーン店のパラドクス」「予言の自己実現」「瓶の中の小鬼」「ドクター・サイコ・パラドクス」「ホリスのパラドクス」など一群のパラドクスの非公式の総称。

●予知能力 demonstration of precognition パ064

アタリハズレをどうやって確認するのか、方法をまずはじめに教えてください。そう要求できさえすれば、とりあえず() である。

●予知能力バトル predictive competition paradox サ075

論理的に勝敗がつくはずのないゲームで（ ）からとって、勝負強さの名が汚されはしない。（ ）たら再起不能だが。

● 4枚カード Part 2 4 cards: part 2 パ033

いかにも公平なゲームであっても、念のため、（ ）て役そのものを公平にしておこう。

● 4枚カード問題 4 card task パ004

ルール違反を最小限の（ ）で摘発する必要はない。が、最小限の（ ）で追及せねばなるまい。

● ライアーゲーム版ギャンブラーの誤謬 gambler's fallacy: Liar Game version ★013

正解を決める唯一の方法は、問題の内容ではなく（ ）を突き止めること。その認識がしばしば唯一の正解である。

● ライアーゲーム版コイントス Coin flipping: Liar Game version ★014

正解を決める唯一の方法は、問題の内容でも（ ）でもなく（ ）の（ ）を突き止めること。とは意地悪クイズに限ったことではない。

● ラッセルの記述理論 Russell's theory of description 心082

論理という（ ）は日常という（ ）と決して食い違わない。が、論理の（ ）と日常の（ ）とは食い違いまくるのみ。

● ラッセルのパラドクス Russell's paradox パ014

（ ）を無限に映し出す神秘の水晶玉よりも、（ ）を映し出せはしない凡俗な硝子玉の方が、（ ）に続べられるやはるかに強い論理的呪力を放つとは……。

● ラッセルのパラドクス：関係バージョン Russell's relational paradox サ068

関係どうしが（ ）を持つことがある——というより、持つとも持たないとも言えない（ ）をこそ必然的に持ったりする。

● ラッセルのパラドクス：命題バージョン Russell's propositional paradox ★037

言い回しを変えると、論理の（ ）が変わるより前に、（ ）の論理が変わることしばしばである。

●ラプラスの悪魔 Laplace's demon 心053

歴史があらかじめ完全に決まっているのか決まっていないのかによって、確率が（ ）の性質であるのか（ ）の性質であるのかが決まる。あらかじめ完全に決まっている。

●ラムジー・テスト Ramsey test サ086

DNAを持たない人が発見されたとしたら、（ ）は（ ）でないことになるだろうか、それとも（ ）に（ ）は必須でないことになるだろうか。

●ランダム・ウォーク random walk 心030

（ ）のないことと、（ ）のないことは、短期的には矛盾しがちだが長期的には折り合うもの。自由と平等もいずれそのようにうまくゆくだろうか？

●利口な馬ハンス genius horse パ063

必然的論理の理念が（ ）なく洗練されればされるほど、偶然の物理的シグナルが（ ）つつ攪乱にやってくる。

●リシャールのパラドクス Richard's paradox パ018

もちろん循環定義は避けられない。どうせ避けられないものなら、ループをなるべく（ ）のが良識人の工夫であり、さりげなく（ ）のがパラドクスフェチの創意である。

●利他主義のパラドクス paradox of altruism 心038

（ ）が連続的な歴史の中の便宜的な区分にすぎないことに照らせば、「（ ）の保存のため」という光が自然界を照らしていないことなど自明中の自明なのだが。

●利用可能性ヒューリスティクス availability heuristics 心002

馴染み深いという性質は、さまざまな（ ）性質を際限なく引き連れてくる。

●両義的な証拠のパラドクス equivocal evidence paradox サ034

複数の推論が相反する結論を導いた場合、推論に責めを負わせるより先に、適用すべき状況を誤っていないという（ ）の（ ）を責めるべきだろう。

●量子自殺 quantum suicide ★026

あなたの1年後の心身が火星やアンドロメダに出現しないのと同じ理屈で、いやもっと強い理由で、あなたが（ ）分岐世界にあなたが移行している心配はない。

●量子不死 quantum immortality ★027

不死を信じるには靈魂を信じる必要などないが、（ ）を信じきる必要がある。

●良心的な商売 fake insurance ★073

騙されたぶん運がめぐってくる。それ式の信仰は、もはや私たちの（ ）に働きかけはしないが、（ ）を巡り続けている。

●輪廻転生を証明する arguing for reincarnation サ108

いつどこで誰として生まれようとも、私は私として存在していただろう。そう信じずにいられる者は、超天文学的な奇跡に（ ）れる超人に違いない。ましてやそうでないと信じる者ときたら、超天文学的な奇跡に（ ）れる聖人に違いない。

●ルイス・キャロルのパラドクス Lewis Carroll's paradox of entailment パ024

論理は真理に密着するが、心理とは直結せず。論理的直観が鋭いとは——非論理的直観にどれほど（ ）でいられるか。実感抜きの仮定への違和感に（ ）にいられるか。

●ルビンの杯 Rubin vase ★077

どこが（ ）なのかをぼんやりとでも突き止めれば、（ ）さという最も明晰な媒体を乗り越えたことになる。

●例外のパラドクス exception paradox サ030

例外のない規則はないだろうが、（ ）に例外があっちゃだめだ。（ ）なるものを規則でそう決めておけ。

●レム睡眠 REM (rapid eye movement) sleep

★065

眠りは意識の中断だという思い込みは、()が眠りの中断だという思い込みによって解除される。して、()は空気のような中断さるべからざる機能だという思い込みによってすべてが解除される。

■連鎖のパラドクス (曖昧性のパラドクス) sorites

「山のパラドクス」「禿頭のパラドクス」「色のパラドクス」「ドミノ倒し論法」「「特別な数」のパラドクス」など一群のパラドクスの非公式の総称。種類の多少異なる「テセウスの船」や、「時限爆弾シナリオ」のような〈滑りやすい坂〉系も含めてよい。曖昧性とは関係ないが、「ナッシュ均衡」「アイスクリーム売りのパラドクス」のような合理性のパラドクス系も類縁性を持つ。

●ロシアン・ルーレット・ジレンマ Russian roulette dilemma

心065

()ができると命拾いすることもある。他人が運を天に任せている間に、運を()に託せるかどうかで。

■論証のパラドクス paradox of reasoning

「ヘンペルの鴉のパラドクス」「ルイス・キャロルのパラドクス」「真理の人間尺度説」「例外のパラドクス」「ヒュームの懐疑主義」「くじのパラドクス」など、演繹と帰納の本性に関する一群のパラドクスの非公式の総称。「ギーチのパラドクス」「妥当な演繹のパラドクス」のように自己言及系も多い。

●ワインと水のパラドクス wine and water problem

サ093

恣意的ならざるすべての()の平均をとる戦略と、最も恣意的でない唯一の()を突き止めようとする戦略と、どちらが的中()が高いだろうか？

●枠の中のパラドクス box paradox

サ031

閉じた空間の内部から外界へ真偽予測をするときは——「真でない」と「偽である」との()的区別を()化せねばならない。

●ワニはジレンマに悩むべきか？ crocodile's dilemma?

サ026

約束そのものに()的欠陥がなければいけほど、欠陥は()的に約束されていたことになる。

▲ 最終問題

以上の各項目の aphorism 的解説を、以下の9種類に分類せよ。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 表題問題を要約したもの | ……辞書的 aphorism |
| 2. 表題問題への正解を要約したもの | …… () 的 aphorism |
| 3. 表題問題への典型的不正解を要約したもの | ……警告的 aphorism |
| 4. 表題問題の誤った解釈を正したもの | …… () 的 aphorism |
| 5. 表題問題の解説を補足したもの | …… () 的 aphorism |
| 6. 表題問題から引き出せる教訓を述べたもの | ……啓蒙的 aphorism |
| 7. 表題問題にまつわる別の未解決問題を提起したもの | …… () 的 aphorism |
| 8. 表題問題の哲学的意義を論評したもの | ……批判的 aphorism |
| 9. その他の象徴的表現 | …… () 的 aphorism |